



GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信

NO.2

August 2009

2009-10年度国際ロータリー第2770地区

上尾市平方のどろいんきよ祭り

奇祭といわれ、白木の御輿に水をかけ、大地に縦横にころがして、人も御輿もどろんこになって豊年満作を祈り、悪疫退散を願います。



ガバナーメッセージ ガバナー 大塚 信郎(上尾) 未来のために仲間を増やそう

夏祭り・花火大会の季節となりました。新年度もひと月を過ぎ、会長・幹事の皆様もひと息つける頃だと思います。さあ奉仕プロジェクトの開始です。共に頑張りましょう。地区は皆様方のクラブをお手伝いする準備が万端整っております。ご利用くださいますことを待っています。

さて、8月は、会員増強月間です。

新会員は、私たちの未来であり、ロータリーファミリーの次世代を担う人々です。ロータリーの家族がこれからも繁栄していくためには、適格な会員男女をクラブに迎え入れる努力を絶えず注いでいかなければなりません。また、新しく入会した会員に特に気を配り、彼らがクラブに馴染み、長きにわたって楽しく、充実した時間をクラブで過ごせるよう配慮することを忘れてはなりません。

世界における奉仕への需要は高まっています。しかし、ロータリーの会員数は、こうした需要のペースに追いついていません。世界人口は、わずか1年間で8千万人以上ふえているのです。

また、現在の世界の人口の60パーセントは35才未満です。しかし、ロータリアンの平均年齢は、それよりずっと高いのです。年齢を重ねるごとに知恵と知識が身に付くのは確かですが、若い会員がいなければ、その知恵と知識を後世に伝えていくことはできません。

クラブに海外を経験した会員がいれば、その会員はその国のニーズを知っているので、新たな国際プロジェクトを立ち上げることができるでしょう。また、ほかの誰

にもない才能を持つ会員がクラブに1人いれば、プロジェクトが円滑に運ぶこともあるでしょう。新会員の多様性は、強さをもたらし、可能性を広げます。ロータリーがあらゆる面で繁栄していくためにも、多様性を奨励してゆかねばなりません。

ロータリーが世界に提供できることは無数にあります。世界の人口が増え、変化の時代を迎えており、ロータリーも成長し、変容を遂げる必要があるのです。

新会員を迎え入れ、現会員を維持していくために、私は、皆さま方一人ひとりのお力を頼りにしております。明日のロータリーのために頑張りましょう。

*ロータリーの未来は あなたの手の中に*あるのです



浦和RC公式訪問にて岩渕直前ガバナーとバッヂ交換



会員増強月間に因んで

『会員増強は私たち全員の責任！！』

会員増強部門委員長 太田 秀明（大宮シティ）

ロータリーの、最大の財産は何でしょうか？

それは疑いもなく、我々ロータリークラブ会員一人一人なのです。この偉大な財産無くして、多くのプログラムも無意味になるでしょう。

また、なぜ新会員を求めるのでしょうか？

それはご存じのように、ロータリーの生存にかかわるからです。皆様の会社同様、組織は発展しなければ消滅に至る事であり、普遍的な公理であります。新会員は私たちの未来でありロータリーファミリーの次世代を担う人々です。まさに、会員基盤の充実が求められています。

第 2770 地区大塚年度、7月スタートの会員数は 2,585 名ですが、岩渕年度の 7 月期首が 2,692 名と、その差が 100 名以上の激減と大変多くの仲間を失いました。これは 35 名のクラブが 3 クラブ無くなる事と同じ数で大変な驚きです。

岩渕年度においても、入会者が 150 名以上の新会員を迎えたが、残念ながら退会者がその数字を大きく上回りこの結果となりました。

退会者の在籍年数内訳として、3 年未満退会者が全体の 37% を占め 5 年未満と合わせると 49% と約半数が 5 年以内に退会されています。

そして、折角クラブ会員の推薦で新会員として迎え入れたメンバーが、ロータリーの良さを知らずに半ばで退会される事に、大変大きな財産を失うこととなり、また多くの仲間と知り合いの機会を得ないまま去ることに深い悲しみを覚えます。

この原因の一つとして、会員相互の『絆（きずな）』が希薄となり退会に繋がったとも言えます。

（例会で会っても声をかけない、欠席者のフォロー、例会運営の不充分など）

そこで会員の減少を抑え、多くの新会員を迎え仲間を増やすことが必要であり、下記 3 項目を最重点課題としチャレンジをお願いします。

1、新会員の勧誘（クラブ増強目標 10%、純増 1 名以上）

2、会員維持（会員相互の絆を深め退会防止）

3、新クラブの設立準備と支援（新会員の多様性）

特に会員増強も大切ですが、今おられる会員の維持にフォーカスを当て、このような時代だからこそ奉仕と親睦活動を通じて会員相互の『絆・キズナ』を深め、多くの仲間を増やしクラブ基盤の充実を図り、明るく楽しいロータリーライフを目指して下さい。

まさに、クラブ会長の『ヤルゾッ！！』という強い信念と情熱と行動力を發揮し、会員を巻き込み全員で取り組む充実したクラブ運営をして下さい。

会員増強月間に因み、これからもクラブに役立つ委員会にしたいと思いますので、卓話やクラブフォーラムなど何なりとお申し付け頂き、今後クラブのご活躍をご期待申し上げます。

	ガバナーメッセージ	1
	会員増強月間に因んで 「会員増強は私たち全員の責任！！」	2
	「会員増強及び拡大月間に因んで」	3
	バーミンガム国際大会に出席して	4
目	事務局員研修会報告	4
	「ロータリー財団地域セミナー」が開催されました。	5
	公式訪問レポート	5
次	ブライダル委員会・ブライダルコーディネーター委嘱状授与式	6
	第2回ロータリー情報ニュース	6
	第1回職業倫理委員会情報	6
	ロータリー財団寄付者一覧・米山記念奨学会寄付者一覧・新会員紹介	7
	ポリオ撲滅チャリティーゴルフコンペのご案内・文庫通信	8



会員増強及び拡大月間に因んで

会員増強委員長 山下 功 (川口むさし野)

会員増強部門セミナーも5月29日に終了し、いよいよ大塚ガバナーアイドのスタートとあい成りました。そこで、会員増強月間に因んで、ロータリアンの皆様、仲間を見つけて友をつくりましょう。

さて、私は地区増強委員に出向させていただき、早4年になります。そこで、強く感じたことは、仲間との出会いと感動をいただきました。そこで委員長としては、楽しくて、元気が出て、仲間と会えるそのような友達を増やすことが大切であると思います。

そこで、すばらしい新会員をクラブ全員で見つけて、そして仲間に下さる。又、一方では、退会防止も大切なことです。私は、退会は経費の問題だろうと考えましたが、数多くの会員は、自分が歓迎されていないのではと感じるからとか、クラブや奉仕活動で実力を発揮できないからという単純な理由で、退会をしてしまうことを学びました。そこで新会員の人達への教育と有意義な奉仕活動への参加が退会防止への有効な方法であると考えます。

どうかロータリアンの皆様、今一度、考えて下さい。すばらしい仲間をつくって下さい。そして、すばらしい奉仕活動を皆様と一緒に行いましょう。

ロータリークラブ

- * 楽しいです。
 - * 仲間と出会えます。
 - * ワイワイやってます。
 - * 勉強になります。
 - * 趣味も増えます。
 - * 仕事のためになります。
 - * 元気がでます。
- 奉仕活動をしています。

会員増強は私たち全員の責任

レディス増強委員長 梶間 順子 (浦和中)

会員増強委員会は5月29日にセミナーを終え、ひと足早く活動を開始しています。

セミナーで感じたのは、女性会員を入会させよう！という意識が確実に高まっているということでした。「女性を入れるにはどうしたらいいの？」という質問をたくさんいただきました。また今まで女性会員のいなかつたクラブが積極的に増強に取り組んで、見事に成果をあげて下さいました。1人より2人と…女性のいるクラブの雰囲気の良さをきっと実感していただけるものと信じています。レディースに関しては僅かではありますか会員数も増えており、うれしい限りです。

増強月間である8月には数多くのクラブに卓話に行かせていただきますが、“毎月が増強月間！”とスローガンに掲げたようにこれから1年間、できるだけ多くのクラブの皆様にお会いして、ロータリーがいかに人生を豊かにしてくれるか…そして、女性会員獲得に向けてのより具体的な方法や心構えなどお話をしたいと考えています。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願ひ致します。





バーミンガム国際大会に出席して

平成 21 年 6 月 25 日

—— ガバナーご苦労さん、ガバナー・エレクト 1 年間頑張って

バーミンガム国際大会推進委員長 PG 飯野 雪男 (蓮田)



バーミンガム国際大会に参加していただいた会員の皆さんご苦労様でした。種々の都合で参加できなかった皆さんと共に、応援していただいた多くの方々のご協力ありがとうございました。

今回の国際大会は 100 回目の記念すべき大会であること、それに加えて RI 元理事である当地区の田中作次パストガバナーが大会委員長であることなどから、多くの会員が世界各国から参加した盛大な国際大会になることを心から祈念していました。しかるに、世界経済同時不況、新型インフルエンザのリスク回避問題など悪条件が重なりましたが参加者 16,000 人、当地区から登録者 270 人と、それなりの成果に結びついたようです。

特に、当地区では国際大会の開催地で時を同じくして『ガバナーご苦労さん、エレクト頑張って』の会合を開くことが地区独立 20 年来の恒例行事になっております。この会合に今年も 130 人からの出席があり盛大に開催されました。この会合で歴代のガバナーが 1 年間ガバナーとして『頑張らなくちゃ』と決意を新たにし、参加者はこのガバナーを『盛り立てなくちゃ』と団結を確認することになります。

毎年のことありますがこの恒例の行事に同席するたびに、当地区の世界的にも群を抜いた活性化はこの行事に大きく依存しているものと受け止めることができます。

明日の自分を、明日の自社経営を、明日の活性化したクラブ運営を求めて毎年国際大会に参加を。国際大会を契機に新たな発見を。 以上



英国第 1180 地区の GSE 交換地区の皆さんと

事務局員研修会報告

地区副幹事 島村 健 (上尾)

梅雨の蒸し暑い 7 月 7 日 (火) 午後 3 時 30 分よりさいたま市内東天紅において、地区内 81 クラブの事務局員さんを対象とした、事務局員研修会が開催されました。大塚ガバナー、井橋ガバナー・エレクトの挨拶をいただき、各クラブから出席の事務局員さん全員から自己紹介をしていただきました。

そして、大塚ガバナーより地区運営方針等をスライドショーにより、ユーモアを交えながら大変わかりやすい説明がありました。最後に大塚ガバナーより、今日 7 月 7 日は何の日でしょうか、と問い合わせがあり、会場からは七夕との声が、その時スライドには、赤いちゃんちゃんこを着た大塚ガバナーが。60 歳の誕生日でした。

その後、川島地区幹事より事務手続き等について、佐々木社会奉仕部会委員長より昨年に引き続きペットボトルのキャップ収集についてのお願いと説明がありました。

休憩後、中島副幹事の乾杯により懇親会に入り歓談、交流を深め実りある研修会を終了することができました。研修会に参加された皆様、都合により出席できませんでした事務局の皆様、今回の研修そして日頃得た知識を十分に發揮いただき、クラブのサポートを心からお願いしますとともにご活躍されますことを願っております。1 年間よろしくお願ひいたします。





「ロータリー財団地域セミナー」が開催されました。

ロータリー財団部門委員長 鈴木英男（越谷北）

7月2日(木)に「ロータリー財団地域セミナー」が、グランドプリンスホテル高輪で開催されました。大塚ガバナー、岩渕直前ガバナー、井橋ガバナー・エレクトを初め、第2770地区からは26名が登録されました。北清治パスト・ガバナーが、RRFC(ロータリー財団地域コーディネーター)を務めておられる関係もあって、特に第2770地区からの出席者が多かったです。

このセミナーは、毎年7月と11月に開催され、全国34地区から参加されるセミナーです。朝8時登録受付、9時開始で、午前中はロータリー財団の実務的なセミナーが中心になり、世界平和フェローで、外務省東南アジア情勢専門分析員の奥平章子さんからのスピーチもありました。2年間の留学で学んだことをどのように実践されているか、お話をされていました。

また、「未来の夢計画」について、TRF管理委員の田中作次氏から説明がありましたが、第2770地区はパイロット地区に選ばれ、2010年7月1日から新しいプログラムが実施されるため、勉強になる点が多く、参加者全員が真剣に耳を傾けておりました。

RRFCの北清治氏からは、2009～2010年度のロータリー財団の四つの年度目標について説明があり、人道的な奉仕に携わるロータリアンの目標が理解出来ました。

午後からは、「学友を中心としたクラブ」についてパネル・ディスカッションがあり、かながわ湘南RC、大阪ネクストRC、中部名古屋みらいRCがパネリストになっての発表でした。第2770地区も岩渕年度にこの「学友を中心とした新クラブ」の結成に向け、打ち合わせを重ねてまいりましたが、会員が集まらず実現させることができなかっただけに、私も身の切られる思いで聴いてまいりました。岩渕直前ガバナーには申し訳なく思うと同時に、第2770地区も「学友を中心とした新クラブ」を実現させなければならないと感じております。

今回のセミナーの内容は、10月3日(土)に開催の「ロータリー財団部門セミナー」の中に取り入れたいと考えております。



公式訪問レポート

浦和RC

例会日 平成21年7月10日
会長 宮下光芳
幹事 吉田孝徳



7月10日、当地区最初の公式訪問例会を、大塚ガバナー、第一グループ鈴木ガバナー補佐、川島地区幹事をお迎えて、開催させていただきました。

例会に先立ち会長、幹事、会長エレクトとの懇談会では、ガバナーより地区方針、ガバナーの考え方、そして地区とクラブとの関連する諸事業等について色々と協議をさせていただき実り多い意見交換ができました。

例会では、岩渕直前ガバナーより大塚ガバナーへのバッジ引継ぎ式、宮澤直前地区幹事より川島地区幹事への引継ぎ式が行われ、続いて、大塚ガバナーより、R Iテーマ、地区運営方針などを熱く語っていただきました。その後、2時間にわたるクラブ協議会では、各委員長の活動方針について講評をいただき、最後の懇親会まで5時間に渡り、お付き合いをいただきました。

また、新会員の入会に際してガバナーよりバッチを贈呈して頂きましたことに心より感謝申し上げます。大塚ガバナーにおかれましては、これから一年間お体に気をつけて地区の発展の為に、ご活躍をお祈り致します。

浦和南RC

例会日 平成21年7月13日
会長 佐藤齊
幹事 成海和正



我がクラブが2つ目の公式訪問になる大塚ガバナーをお迎えし公式訪問が開催されました。例会の前に面談があり、ガバナー、鈴木ガバナー補佐から私と成海幹事、小林エレクトでR I及び地区の考えを我がクラブの現況を報告する中で、中長期を見据えたご指導を戴きました。主な点は会員増強と財団寄付でありライラ研修、G S Eの受け入れ要請でした。

出席率93%で始まったクラブ例会では、大塚ガバナーからスクリーンを利用したR I及び地区の方針を示され、会員に解りやすい説明をされました。続くクラブ協議会では各委員長の発表に対し丁寧なご講評を戴き所定の時間をオーバーする程、中身の濃い協議会になりました。「今こそ私たちの出番です」としたスローガンのように我々も積極的にロータリーに関わっていこうと思いました。



ブライダル委員会・ブライダル・コーディネーター委嘱状授与式

2009年～2010年度ブライダル委員長 加藤和正（岩槻）

昨日は、梅雨前線と低気圧の影響で早朝から気温27℃・湿度98%と大変不快な日和から一転し7月11日（日）は湿度43%と気温も下がり肌寒く感じるさわやかな大安吉日の佳き日に浦和ロイヤル・パインズホテルに於いてガバナー大塚信郎様、パスト・ガバナー森田武司様（奉仕プロジェクト部門担当諮問委員長）、ガバナー・ノミニー三國明様（奉仕プロジェクト部門副委員長）、佐々木直之様（社会奉仕部会委員長）、ブライダル委員の皆様方の出席で開催されました。

ガバナー大塚信郎様から永年の結婚相談を通して多くのカップル誕生実績に感謝のお言葉と各ブライダル委員に励ましたご指導を頂き続けてパスト・ガバナー森田武司様、ガバナー・ノミニー三國明様からご挨拶を頂きその後ガバナー大塚信郎様から直接1人1人へ11名の各コーディネーター様へ委嘱状をお渡し致しました。

私から各ブライダル委員様のご紹介、佐々木直之様の音頭で乾杯。食事会が始まりました。愛は二人のために…素敵な出会い、大きな感動、誠実、優しさ、思いやり、前向きな心、婚約までのプロセスを大切にロータリーブライダル委員会は情熱で愛のためにサポート致しておりますから、是非ブライダル登録にロータリアンの皆様方のご協力の程よろしくお願ひ申し上げます。



連載

第2回 ロータリー情報ニュース

ロータリー・リーダーシップ・研究会とは Rotary Leadership Institute (RLI)

ロータリー情報委員長 篠原唯史（浦和北東）

大塚年度で二つの特別委員会が設置されました。地区研修委員会とロータリー・リーダーシップ研究会の二委員会です。初めて耳にするRLIとは？について少し触れてみたいと思います。

RLIは、1992年にアメリカ・ニュージャージー州（第7510地区）にて、元RI理事デビット・リンネット氏の提案で始められた研究組織です。現在、草の根のロータリー研究組織として、世界の80ヶ国36支部153地区に広がり、RLIの研修セミナーが実施されております。

RLIはロータリーの組織や活動に関して、正しく深い知識を持ち、高い教育的な経験を備えた指導力のあるロータリアンを支援するために活動しており、日本のロータリー米山記念奨学会と同じように、RIが承認した多地区合同奉仕プロジェクトです。このRLIの活動は、日本のロータリアンにとっても共鳴するところが多く、日本の文化やロータリー活動の特徴を取り入れながらRLIに参加することによって、クラブやロータリアンの理解や指導力を高める活動を進めていけば、必ず日本のロータリーの発展に寄与するものと思います。

このセミナーで最も肝要な点は、ロータリーに関してロータリアン一人ひとりの意見を自主的に引き出して、意見を交換して話し合い、自分たちの力でロータリーの理解を深めていくという点です。「研修の基本コース」は「パートⅠ」「パートⅡ」「パートⅢ」です。一年間位の時間帯で、三つのコースを終業したときにRLIピンと修了証書が授与されます。

* RLI日本支部 2008年6月設立、委員長 南園義一（元RI理事）・副委員長 黒田正浩 RI理事(2009～11年度)
委員：成川守彦、川尻政輝、関場慶博、川妻二郎。
※実施地区は2750地区、2830地区、2710地区。

第1回 職業倫理委員会情報

「3年未満の新しい会員さん、 ロータリーの職業奉仕を理解しよう」

職業倫理委員長 清水裕次（岩槻東）

大塚年度もガバナーの希望で職業倫理委員会情報を掲載してください、という命題を言い渡されました。昨年度は1915年サンフランシスコ大会において11か条からなる「職業人のためのロータリー倫理訓」を前青木職業倫理委員長を中心に掲載されました。今年度は、地区内ロータリアン、特にまだロータリー歴が浅い会員さんにロータリーの金看板といわれている「職業奉仕」について解りやすく解説していきたいと思っています。星の数ほどある多くの奉仕団体とロータリーが根本的に違う点を理解できれば退会防止にもつながるものと思っています。

まず、はじめにローターの会員になって考えなければならないのは「奉仕」という言葉の理解であります。職業奉仕を理解する最初のヒントはロータリーで言う「奉仕」という言葉を3つに分けて考えなければ理解できないのではという事であります。

①クラブ奉仕 ----- この奉仕は自分がより良いクラブにする為に増強に、親睦にとクラブに対する義務、責務だと考えればよいと思います。

②社会奉仕、国際奉仕 ----- ボランティア感覚奉仕だと思います。ボランティアは辞書によりますとく社会を良くする為に、自分達の時間、技術を自発的に無償で提供する人>となっております。ロータリーの奉仕哲学である「超我の奉仕」「Service Above Self」という人道的奉仕ということになるわけあります。

弱者に対しては涙して人の為に働くとする心、己を投げ捨てながら人の為に働くとする心、これがService Above Selfです。

ライオンズを初めほとんどのボランティア団体が目指している奉仕であります。

では、ロータリーの金看板になっている職業奉仕の意味は----- 次回に掲載



ロータリー財団

大口寄付(41,250\$)	大口寄付(18,100\$)	大口寄付(10,740\$)	M・P・H・F(6)	M・P・H・F(4)	M・P・H・F(4)
東条 和彦 (大宮東) 平成 21 年 7 月 14 日	竹ノ谷 光美 (川口南) 平成 21 年 7 月 10 日	小畠 正勝 (鴻巣水曜) 平成 21 年 7 月 1 日	品川 喜久郎 (大宮中央) 平成 21 年 7 月 6 日	稻葉 継男 (大宮中央) 平成 21 年 7 月 6 日	高橋 光男 (大宮東) 平成 21 年 7 月 14 日

M・P・H・F(3)	M・P・H・F(2)	M・P・H・F(2)	M・P・H・F(2)	M・P・H・F(2)	M・P・H・F(2)	M・P・H・F(2)

M・P・H・F(2)	M・P・H・F(2)	M・P・H・F(1)	P・H・F	P・H・F	ベネファクター(10)	ベネファクター(1)

ベネファクター(1)	ベネファクター(1)	ベネファクター(1)			メジャードナー(L-15)	メジャードナー(L-13)

メジャードナー(L-11)	メジャードナー(L-11)	米山功労者(M-3)	米山功労者(M-3)	米山特別功労法人	準米山功労法人

久世 晴雅
(大宮中央)
平成 21 年 7 月 9 日

竹内 廣
(鴻巣水曜)
平成 21 年 7 月 9 日

志村 広
(大宮東)
平成 21 年 7 月 14 日

志村 浩子
(大宮東)
平成 21 年 7 月 14 日

大真商事(株)
石井 秀幸
(大宮中央)
平成 21 年 7 月 6 日

(有)リアルシステムズ
御畑 博司
(大宮中央)
平成 21 年 7 月 6 日

新会員のご紹介						
行政書士 鈴木智士事務所 平成21年7月1日入会	MS 保険企画(株) 平成21年7月1日入会	(有)東晶大飯店 平成21年7月1日入会	(有)力ースピリット 平成21年7月1日入会	青木 成夫 (三郷中央) さつき内科 平成21年7月7日入会	大森 弘治 (三郷中央) 懇親工房・さいたま 平成21年7月7日入会	



2009～2010年度 国際ロータリー2770地区 地区大会 ポリオ撲滅 チャリティゴルフコンペのご案内

日 時	平成21年9月28日（月曜日）【雨天決行】
募 集 人 数	各クラブ4名（地区役員を含む）
開 催 コース	プレステージカントリークラブ 東・西コース（貸切） 栃木県栃木市梓町 455-1 Tel 0282-31-1111
登 錄 料	クラブ負担金 10,000円 個人登録料 1名 5,000円
登 錄 申 込み	個人参加者を登録申込書にご記入の上、FAXにてお申込みください。 登録申込み及び登録料のお振込みは8月15日迄に必着でお願いします。
プレー 費	プレー費は個人精算です。約12,000円位。 【グリーンフィー・食事代（飲物及び指定外のメニューは別途精算）・ キャディフィー・諸経費込み】 ※急なご欠席で3名プレーになるとき、キャディフィーの変動がありますので予めご了承ください。

尚、ご不明な点がありましたら下記までお問合せください。

《連絡先》 地区大会記念ゴルフ実行委員会（上尾北ロータリークラブ事務局内）
TEL 048-771-7888 FAX 048-771-9589 E-mail ageo-kita@rotary-club.net

ご案内

地区大会記念ゴルフ実行委員長 矢部一彦

地区大会行事の一環として恒例の記念ゴルフコンペを（上記）通り開催致します。参加者の皆様には、会員相互の親睦を目的として当日は楽しい一日をお過ごしいただけます様、実行委員会一同最善の努力をいたす所存でございます。
大変ご多忙のこととは存じますが、万障お繰り合わせの上、ご参加くださいます様、宜しくお願い致します。



「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、2万余点を収集・整備し皆様のご利用に備えてあります。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

ロータリー情報

- ◎「ロータリーの基本精神としての『サービス理念』と『職業奉仕』」 菅生浩三 2009 4p (D.2660 月信)
- ◎「これからのロータリー」 渡辺好政 2009 6p (D.2690 地区大会記念誌)
- ◎「約束を守ろう！ポリオ撲滅」 岩渕均 2009 8p (D.2770 月信)
- ◎「一九一一年のロータリーのToleration（寛容）とPhilosophy（哲学）」 坂本俊雄 2009 1p (D.2750 新会員研修セミナー研修資料)
- ◎「ロータリーの奉仕・Serviceをめぐる一〇年間の大議論 一九二三年の二三一三四号決議」 坂本俊雄 2009 2p (D.2750 新会員研修セミナー研修資料)
- ◎「貧困への挑戦 識字プロジェクト」 竹腰兼壽 2009 1p (D.2630 月信)
- ◎「ロータリーにおける社会奉仕について」 勝野露観 2009 10p (D.2640 月信)
- ◎「ロータリーの職業倫理訓逐条解説（10）～（12）」 青木伸翁 2009 3p (D.2770 月信)

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー／PDF）]